

代々木病院新入職員に歓迎とエール

ご一緒に地域の健康づくり

今年、代々木病院に6名(中途採用2名含む)が入職しました。コロナが収束せず、不安な社会環境の中、地域医療を守るために入職されたみなさんに歓迎とエールを送ります。



ころばん体操に新入職員も参加

そのなかで、病院と友の会、地域との関係について、支えあう関係であることを強調しました。一つは、地域のみなさんと共同で取り組み、健康なまちづくりをめざしていること、コロナ禍では自粛してきましたが、今後、健康講座や青空健康チェックを再開すること、ころばん体操やころばんサークル、歩こう会など多彩な取り組みをしていること。

また、コロナ禍では、この3年間、ワクチン接種の予約のお手伝いや会員の「お元気ですかコール」など見守り活動していること。

二つに、地域で班会やおしゃべり会、居場所づくり、病院への送迎で地域の患者さんを支えていること。

5月から接種が再開

予約は今まで通り専用サイトで

5月8日から、65歳以上の高齢者と基礎疾患を有する人を対象にコロナワクチン接種が再開されます。一般的には、6回目接種となります。予約はこれまで通り、専用



オリエンテーション

予約サイトからになります。また、5月8日から、コロナ感染に関して、これまでの2類感染症から季節性インフルエンザと同じ5類感染症に移行となります。それでは何が変わるか。感染者への入院勧告、感染者や濃厚接触者の外出制限、屋内で



3月末で定年退職となりました。2006年の中途入職以来異動することもなく17年間にわたり代々木病院で働かせていただきました。その大半を総務・医局で勤務したため、患者さんと直接接する機会は多くはなく、「患者さんに寄り添う」という民医連医療

の醍醐味をあまり経験できなかったことは、少し残念でもありました。最後の数年間は、「院主に、患者さん・利用

代々木病院で17年 貴重な経験

所利用委員会(通称:医者さんから寄せられた投書についての協議を行う)の担当をさせていただき、友の会の幹事の皆さんからたくさんアドバイスをいただき励まされることも

ありました。逆はその苦情については、民医連の医療とはいったい何だろうか、等々、考えさせられたことも少なくありませんでした。



友の会 幹事会

マイナンバー 不安がいっぱい どうするの

マイナンバー 一体化法案は撤回へ

不安がいっぱい どうするの



政府は、現行の健康保険証を2024年に廃止してマイナンバーカードに一体化する法案を提出しています。現行保険証廃止以後、カードを持たない被保険者に対しては、「資格確認書」を発行

して、保険診療を受けられるようにするとしています。資格確認書を得るには本人の申請が必要で、有効期間は最長1年とされ、更新手続きをしなければなりません。マイナンバーカードを事実上強制し、国民と医療機関に負担と混乱をもたらすとして反対の声が広がっています。

友の会の会員さんからも、「どうすればいいの」と不安が広がっています。国民の不安をよそに、マイナンバーカードを強要することは許されません。健康保険証との一体化法案は撤回すべきです。友の会 幹事会



さらに、マイナンバーと年金などの公金受取口

「できない」が94%にも

友の会のページ

「お元気ですか」改題No.422
編集 代々木健康友の会
03(5411)9589
FAX 03(5786)2472

会費納入のご案内
会費納入は、郵便振替が便利です。
会費は年間1,000円です。
口座番号 00190-7-71019
加入者名 代々木健康友の会
4月1日現在会員数約3528人

